

# ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型)

米ドルコース  
日本円コース  
通貨αコース

## 運用報告書 (全体版)

第59期 (決算日 2019年11月20日)

第60期 (決算日 2019年12月20日)

第61期 (決算日 2020年1月20日)

第62期 (決算日 2020年2月20日)

第63期 (決算日 2020年3月23日)

第64期 (決算日 2020年4月20日)

(作成対象期間 2019年10月22日～2020年4月20日)

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／その他資産	
信託期間	約10年間 (2014年10月21日～2024年10月18日)	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	米ドルコース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド (ノンヘッジクラス)」の受益証券 (円建) ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	日本円コース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド (円ヘッジクラス)」の受益証券 (円建) ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	通貨αコース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド (通貨αクラス)」の受益証券 (円建) ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、エネルギーや天然資源等に関連する米国のMLP (マスター・リミテッド・パートナーシップ) 等へ投資し、信託財産の成長をめざしております (通貨αコースでは、通貨カバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保もめざしております)。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先 (コールセンター)  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00～17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<5643>

<5644>

<5645>

米ドルコース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			アレリアンMLP指数 (円換算)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
35期末(2017年11月20日)	5,904	30	△ 3.3	6,850	△ 4.1	—	98.6	5,470
36期末(2017年12月20日)	6,163	30	4.9	7,215	5.3	—	99.2	5,392
37期末(2018年1月22日)	6,415	30	4.6	7,697	6.7	—	99.5	5,445
38期末(2018年2月20日)	5,769	30	△ 9.6	6,902	△ 10.3	—	99.5	4,693
39期末(2018年3月20日)	5,269	30	△ 8.1	6,199	△ 10.2	—	99.5	4,143
40期末(2018年4月20日)	5,560	30	6.1	6,616	6.7	—	99.5	4,222
41期末(2018年5月21日)	6,050	30	9.4	7,256	9.7	—	99.5	4,543
42期末(2018年6月20日)	5,951	30	△ 1.1	7,106	△ 2.1	—	99.5	4,279
43期末(2018年7月20日)	6,334	30	6.9	7,533	6.0	—	99.5	4,163
44期末(2018年8月20日)	6,463	30	2.5	7,905	4.9	—	99.4	4,167
45期末(2018年9月20日)	6,252	30	△ 2.8	7,773	△ 1.7	—	99.4	3,976
46期末(2018年10月22日)	6,096	30	△ 2.0	7,599	△ 2.2	—	99.1	3,733
47期末(2018年11月20日)	5,616	30	△ 7.4	7,123	△ 6.3	—	99.5	3,366
48期末(2018年12月20日)	5,237	30	△ 6.2	6,624	△ 7.0	—	99.3	3,097
49期末(2019年1月21日)	5,504	30	5.7	6,969	5.2	—	98.9	3,163
50期末(2019年2月20日)	5,749	30	5.0	7,357	5.6	—	97.5	3,246
51期末(2019年3月20日)	5,763	30	0.8	7,408	0.7	—	99.3	3,153
52期末(2019年4月22日)	5,678	30	△ 1.0	7,313	△ 1.3	—	99.5	3,062
53期末(2019年5月20日)	5,686	30	0.7	7,378	0.9	—	99.2	3,055
54期末(2019年6月20日)	5,373	30	△ 5.0	7,006	△ 5.0	—	99.0	2,750
55期末(2019年7月22日)	5,456	30	2.1	7,257	3.6	—	99.1	2,747
56期末(2019年8月20日)	4,939	30	△ 8.9	6,670	△ 8.1	—	98.6	2,437
57期末(2019年9月20日)	5,154	30	5.0	6,999	4.9	—	99.0	2,511
58期末(2019年10月21日)	4,794	30	△ 6.4	6,498	△ 7.2	—	99.3	2,304
59期末(2019年11月20日)	4,440	30	△ 6.8	5,926	△ 8.8	—	98.9	2,079
60期末(2019年12月20日)	4,763	30	8.0	6,575	11.0	—	99.4	2,176
61期末(2020年1月20日)	4,966	30	4.9	6,895	4.9	—	99.0	2,233
62期末(2020年2月20日)	4,662	30	△ 5.5	6,284	△ 8.9	—	98.9	2,053
63期末(2020年3月23日)	2,173	30	△ 52.7	2,829	△ 55.0	—	98.3	951
64期末(2020年4月20日)	2,668	30	24.2	3,417	20.8	—	98.1	1,169

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) アレリアンMLP指数(円換算)は、Alerian MLP Total Return Index(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。Alerian MLP Total Return Index(米ドルベース)はGKD Index Partners LLC d/b/a Alerianが算出しており、その商標を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

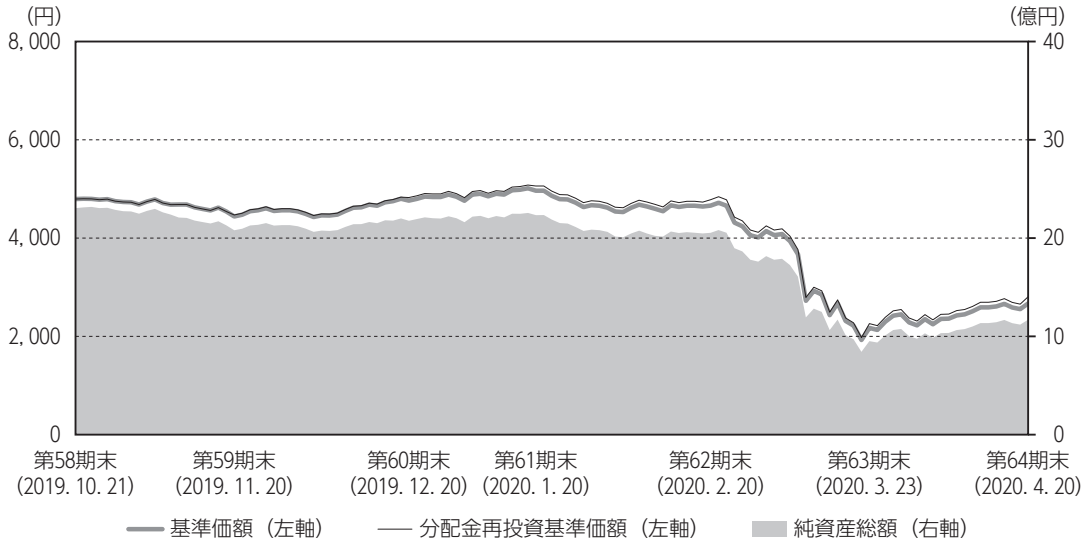
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

第59期首：4,794円

第64期末：2,668円（既払分配金180円）

騰落率：△41.5%（分配金再投資ベース）

#### 基準価額の主な変動要因

主にMLP（※）市況が下落したことから基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※MLPは、米国で行われている共同投資事業形態のひとつであり、その出資持分が米国の金融商品取引所等で取引されています。

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型） 米ドルコース

	年 月 日	基 準 価 額		アレリアンMLP指数 (円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第59期	(期首)2019年10月21日	4,794	—	6,498	—	—	99.3
	10月末	4,731	△ 1.3	6,422	△ 1.2	—	99.4
	(期末)2019年11月20日	4,470	△ 6.8	5,926	△ 8.8	—	98.9
第60期	(期首)2019年11月20日	4,440	—	5,926	—	—	98.9
	11月末	4,567	2.9	6,130	3.4	—	99.3
	(期末)2019年12月20日	4,793	8.0	6,575	11.0	—	99.4
第61期	(期首)2019年12月20日	4,763	—	6,575	—	—	99.4
	12月末	4,842	1.7	6,649	1.1	—	99.0
	(期末)2020年1月20日	4,996	4.9	6,895	4.9	—	99.0
第62期	(期首)2020年1月20日	4,966	—	6,895	—	—	99.0
	1月末	4,620	△ 7.0	6,298	△ 8.7	—	98.7
	(期末)2020年2月20日	4,692	△ 5.5	6,284	△ 8.9	—	98.9
第63期	(期首)2020年2月20日	4,662	—	6,284	—	—	98.9
	2月末	4,058	△ 13.0	5,284	△ 15.9	—	98.7
	(期末)2020年3月23日	2,203	△ 52.7	2,829	△ 55.0	—	98.3
第64期	(期首)2020年3月23日	2,173	—	2,829	—	—	98.3
	3月末	2,223	2.3	2,571	△ 9.1	—	98.1
	(期末)2020年4月20日	2,698	24.2	3,417	20.8	—	98.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2019. 10. 22 ~ 2020. 4. 20)

## ■MLP市況

MLP市況は大幅に下落しました。

MLP市況は、当作成期首から2020年2月中旬にかけては、レンジ相場（一定の価格帯の中で変動を繰り返す相場）となりました。2020年2月下旬から3月中旬にかけては、原油価格の急落や新型コロナウイルスの感染拡大によって世界的な景気減速懸念が高まったことから、MLP市況は大幅に下落しました。原油価格は、OPECプラス（石油輸出国機構加盟国とロシアなど非加盟国）の減産協議の決裂に加え、サウジアラビアが増産に転じる姿勢を示したことで、大幅に下落しました。当作成期末にかけては、各国の大胆な景気刺激策の発表や新型コロナウイルスの新規感染者数の増加ペースに鈍化傾向が見られたことなどから、MLP市況は反発しました。

## ■為替相場

米ドル円為替相場は小幅に下落（円高）しました。

米ドル円相場は、当作成期首から2020年2月中旬にかけては小動きでした。2020年2月下旬から3月上旬にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大によって世界的な景気減速懸念が高まったことから投資家心理が悪化し、米ドル円は下落しました。3月下旬にかけては、市場の混乱が米ドル需要の高まりにつながったことから反発しましたが、当作成期末にかけては、FRB（米国連邦準備制度理事会）を中心とした当局の対応を受けて市場が落ち着いたことから米ドル買いの動きが抑制され、当作成期首と比べ小幅安の水準まで下落しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

## ■当ファンド

アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

※アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）：CBREクラリオン・トラストーダイワクラリオン・アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）

## ■アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）

最終需要に裏打ちされた収益透明性の高い需要主導（デマンド・プル）型関連施設開発機会や、低コストで原油や天然ガスを生産する優良生産地域における生産活動の増加に関連した施設開発機

会、激しい競争の影響が少なく成長が見込まれる川中MLPに注目していきます。ポートフォリオは、生産性の高い地域における施設、優れた経営陣やスポンサー（親会社）、潤沢な配当原資や負債比率の比較的低い良好な財務体質を持つ銘柄、平均を上回るキャッシュフロー成長率を示している銘柄に焦点を当てます。また、株価にプラスの影響があると期待されることから、資本構造の簡素化を図っているMLPにも注目しています。資本構造の簡素化を図るMLPの中には、MLPから株式会社の形態に変更するものもあり、エネルギー川中事業セクターにおける株式会社の数は増加傾向にあります。ファンドにおいては、このような株式会社にも投資してまいります。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2019. 10. 22 ~ 2020. 4. 20)

### ■当ファンド

当ファンドは、アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期はアメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）を高位に組み入れました。

### ■アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）

当ファンドは、マクロ経済、エネルギー需要、地域別、業種別の動向を分析するトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当の安定性や成長性、経営陣の質、バリュエーションなどに焦点を当て分析するボトムアップ・アプローチを組み合わせ、ポートフォリオを構築しました。

セクターについては、パイプラインや貯蔵施設などの川中MLPや株式会社を中心に構成しました。また、地域、エネルギー種別（天然ガス、原油、石油精製品、天然ガス液）、川中事業における役割（集積、処理、輸送、貯蔵）を考慮して分散投資を行いました。

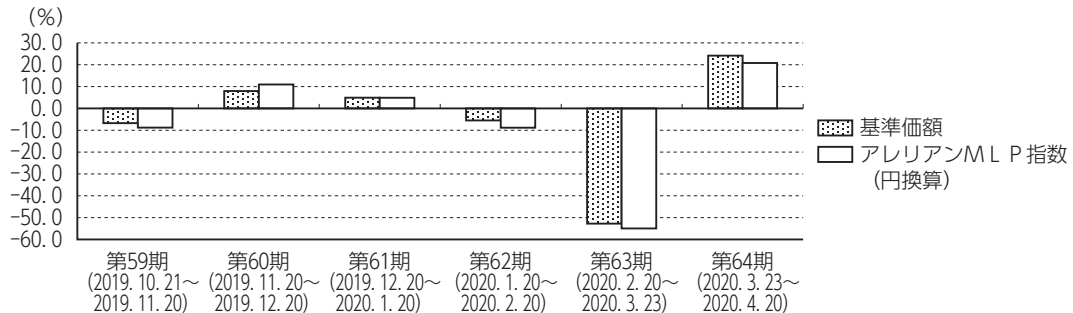
### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドは、参考指数と比較して「原油・精製品パイプライン、貯蔵」の組入比率が低いという特徴があります。参考指数はMLP市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第59期	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期
	2019年10月22日 ～2019年11月20日	2019年11月21日 ～2019年12月20日	2019年12月21日 ～2020年1月20日	2020年1月21日 ～2020年2月20日	2020年2月21日 ～2020年3月23日	2020年3月24日 ～2020年4月20日
<b>当期分配金（税込み）（円）</b>	<b>30</b>	<b>30</b>	<b>30</b>	<b>30</b>	<b>30</b>	<b>30</b>
対基準価額比率（%）	0.67	0.63	0.60	0.64	1.36	1.11
当期の収益（円）	26	30	30	25	27	30
当期の収益以外（円）	3	—	—	4	2	—
翌期繰越分配対象額（円）	726	727	728	724	721	722

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項目	第59期	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 26.29円	✓ 30.70円	✓ 30.47円	✓ 25.89円	✓ 27.04円	✓ 30.80円
(b) 経費控除後の有価証券売却等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	219.62	220.83	221.92	227.54	229.21	231.60
(d) 分配準備積立金	✓ 511.05	506.14	505.76	✓ 500.86	✓ 495.03	489.68
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	756.97	757.68	758.16	754.21	751.29	752.10
(f) 分配金	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	726.97	727.68	728.16	724.21	721.29	722.10

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

### ■アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）

良好な財務体質、生産性の高い地域における施設の保有、低いカウンターパーティーリスク（取引相手の信用リスク）、優れた経営陣を有する企業が選好されると考えており、これらを重視したポートフォリオを構築します。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。



## 1万口当りの費用の明細

項 目	第59期～第64期 (2019. 10. 22～2020. 4. 20)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	26円	0.644%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は4,113円です。
(投 信 会 社)	(9)	(0.220)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(17)	(0.411)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	27	0.648	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

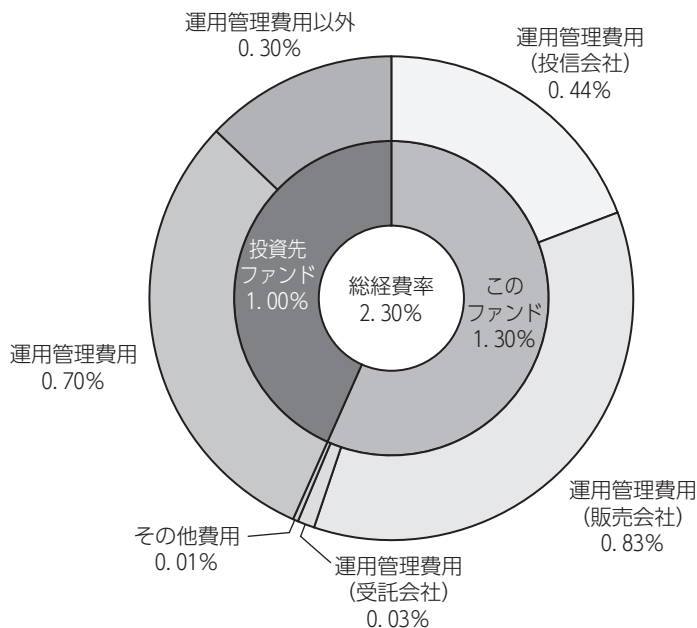
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.30%です。



総経費率 ( ① + ② + ③ )	2.30%
①このファンドの費用の比率	1.30%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.70%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.30%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

(1) 投資信託受益証券

(2019年10月22日から2020年4月20日まで)

決算期	第 59 期 ~ 第 64 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	2,326,19833	84,642	7,530,90132	299,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2019年10月22日から2020年4月20日まで)

決算期	第 59 期 ~ 第 64 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マナー・マザーファンド	—	—	275	280

(注) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2019年10月22日から2020年4月20日まで)

買 付	第 59 期 ~		第 64 期		平均単価	
	銘 柄		銘 柄			
	□ 数	金 額	□ 数	金 額		
	千口	千円	千口	千円	円	
			AMERICAN MLP FUND NON HEDGED CLASS (ケイマン諸島)	7,530,90132	299,000	39

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 64 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) AMERICAN MLP FUND NON HEDGED CLASS	46,633,29736	1,147,039	98.1

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第58期末	第 64 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マナー・マザーファンド	285	9	9

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年4月20日現在

項 目	第 64 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	1,147,039	96.9
ダイワ・マナー・マザーファンド	9	0.0
コール・ローン等、その他	36,838	3.1
投資信託財産総額	1,183,888	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

# ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型）米ドルコース

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年11月20日)、(2019年12月20日)、(2020年1月20日)、(2020年2月20日)、(2020年3月23日)、(2020年4月20日)現在

項目	第59期末	第60期末	第61期末	第62期末	第63期末	第64期末
<b>(A) 資産</b>	<b>2,107,995,822円</b>	<b>2,213,298,229円</b>	<b>2,281,088,292円</b>	<b>2,087,382,159円</b>	<b>966,107,004円</b>	<b>1,183,888,181円</b>
コール・ローン等	50,179,185	50,073,640	29,967,142	36,893,948	31,418,299	36,838,980
投資信託受益証券（評価額）	2,057,526,649	2,163,214,602	2,211,111,164	2,030,478,226	934,678,719	1,147,039,215
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	289,988	9,987	9,986	9,986	9,986	9,986
未収入金	—	—	40,000,000	19,999,999	—	—
<b>(B) 負債</b>	<b>28,344,815</b>	<b>37,149,267</b>	<b>47,729,733</b>	<b>33,623,044</b>	<b>14,934,124</b>	<b>14,397,558</b>
未払金	—	—	20,000,000	10,000,000	—	—
未払収益分配金	14,050,131	13,705,339	13,492,602	13,214,763	13,130,345	13,149,813
未払解約金	11,901,346	21,162,916	11,769,966	8,070,215	6,398	111,895
未払信託報酬	2,378,166	2,251,493	2,422,199	2,278,568	1,726,878	1,058,596
その他未払費用	15,172	29,519	44,966	59,498	70,503	77,254
<b>(C) 純資産総額（A－B）</b>	<b>2,079,651,007</b>	<b>2,176,148,962</b>	<b>2,233,358,559</b>	<b>2,053,759,115</b>	<b>951,172,880</b>	<b>1,169,490,623</b>
元本	4,683,377,075	4,568,446,351	4,497,534,262	4,404,921,177	4,376,781,756	4,383,271,223
次期繰越損益金	△ 2,603,726,068	△ 2,392,297,389	△ 2,264,175,703	△ 2,351,162,062	△ 3,425,608,876	△ 3,213,780,600
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>4,683,377,075口</b>	<b>4,568,446,351口</b>	<b>4,497,534,262口</b>	<b>4,404,921,177口</b>	<b>4,376,781,756口</b>	<b>4,383,271,223口</b>
1万口当り基準価額（C/D）	4,440円	4,763円	4,966円	4,662円	2,173円	2,668円

\*第58期末における元本額は4,807,554,776円、当作成期間（第59期～第64期）中における追加設定元本額は126,882,512円、同解約元本額は551,166,065円です。

\*第64期末の計算口数当りの純資産額は2,668円です。

\*第64期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は3,213,780,600円です。

## ■損益の状況

第59期 自 2019年10月22日 至 2019年11月20日      第61期 自 2019年12月21日 至 2020年1月20日      第63期 自 2020年2月21日 至 2020年3月23日  
 第60期 自 2019年11月21日 至 2019年12月20日      第62期 自 2020年1月21日 至 2020年2月20日      第64期 自 2020年3月24日 至 2020年4月20日

項目	第59期	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>14,709,640円</b>	<b>14,225,832円</b>	<b>14,027,819円</b>	<b>13,660,670円</b>	<b>13,575,794円</b>	<b>13,566,052円</b>
受取配当金	14,710,181	14,226,365	14,029,059	13,661,004	13,576,738	13,566,451
受取利息	—	4	4	1	—	22
支払利息	△ 541	△ 537	△ 1,244	△ 335	△ 944	△ 421
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>△ 163,921,073</b>	<b>149,274,815</b>	<b>92,886,969</b>	<b>△ 130,358,390</b>	<b>△ 1,087,126,607</b>	<b>217,525,433</b>
売買益	1,889,110	151,276,405	93,742,806	4,052,038	2,271,466	217,787,142
売買損	△ 165,810,183	△ 2,001,590	△ 855,837	△ 134,410,428	△ 1,089,398,073	△ 261,709
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 2,393,338</b>	<b>△ 2,265,849</b>	<b>△ 2,437,646</b>	<b>△ 2,293,100</b>	<b>△ 1,737,883</b>	<b>△ 1,065,347</b>
<b>(D) 当期損益金（A+B+C）</b>	<b>△ 151,604,771</b>	<b>161,234,798</b>	<b>104,477,142</b>	<b>△ 118,990,820</b>	<b>△ 1,075,288,696</b>	<b>230,026,138</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>△ 2,001,751,615</b>	<b>△ 2,109,163,016</b>	<b>△ 1,927,055,917</b>	<b>△ 1,779,149,425</b>	<b>△ 1,892,875,717</b>	<b>△ 2,971,210,763</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>△ 436,319,551</b>	<b>△ 430,663,832</b>	<b>△ 428,104,326</b>	<b>△ 439,807,054</b>	<b>△ 444,314,118</b>	<b>△ 459,446,162</b>
（配当等相当額）	（ 102,857,905）	（ 100,888,586）	（ 99,810,069）	（ 100,230,129）	（ 100,321,844）	（ 101,520,061）
（売買損益相当額）	（△ 539,177,456）	（△ 531,552,418）	（△ 527,914,395）	（△ 540,037,183）	（△ 544,635,962）	（△ 560,966,223）
<b>(G) 合計（D+E+F）</b>	<b>△ 2,589,675,937</b>	<b>△ 2,378,592,050</b>	<b>△ 2,250,683,101</b>	<b>△ 2,337,947,299</b>	<b>△ 3,412,478,531</b>	<b>△ 3,200,630,877</b>
<b>(H) 収益分配金</b>	<b>△ 14,050,131</b>	<b>△ 13,705,339</b>	<b>△ 13,492,602</b>	<b>△ 13,214,763</b>	<b>△ 13,130,345</b>	<b>△ 13,149,813</b>
次期繰越損益金（G+H）	△ 2,603,726,068	△ 2,392,297,389	△ 2,264,175,703	△ 2,351,162,062	△ 3,425,608,876	△ 3,213,780,600
追加信託差損益金	△ 436,319,551	△ 430,663,832	△ 428,104,326	△ 439,807,054	△ 444,314,118	△ 459,446,162
（配当等相当額）	（ 102,857,905）	（ 100,888,586）	（ 99,810,069）	（ 100,230,129）	（ 100,321,844）	（ 101,520,061）
（売買損益相当額）	（△ 539,177,456）	（△ 531,552,418）	（△ 527,914,395）	（△ 540,037,183）	（△ 544,635,962）	（△ 560,966,223）
分配準備積立金	237,614,157	231,552,248	227,686,084	218,780,159	215,372,524	214,997,747
繰越損益金	△ 2,405,020,674	△ 2,193,185,805	△ 2,063,757,461	△ 2,130,135,167	△ 3,196,667,282	△ 2,969,332,185

（注1）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

（注3）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第59期	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期
(a) 経費控除後の配当等収益	12,316,297円	14,028,702円	13,708,000円	11,367,570円	11,837,911円	13,503,516円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	102,857,905	100,888,586	99,810,069	100,230,129	100,321,844	101,520,061
(d) 分配準備積立金	239,347,991	231,228,885	227,470,686	220,627,352	216,664,958	214,644,044
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	354,522,193	346,146,173	340,988,755	332,225,051	328,824,713	329,667,621
(f) 分配金	14,050,131	13,705,339	13,492,602	13,214,763	13,130,345	13,149,813
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	340,472,062	332,440,834	327,496,153	319,010,288	315,694,368	316,517,808
(h) 受益権総口数	4,683,377,075口	4,568,446,351口	4,497,534,262口	4,404,921,177口	4,376,781,756口	4,383,271,223口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1万口当り分配金	第59期	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期
		30円	30円	30円	30円	30円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

日本円コース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			アレリアンMLP指数 (米ドルベース)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
35期末(2017年11月20日)	5,413	30	△ 3.2	6,524	△ 3.6	—	98.6	1,527
36期末(2017年12月20日)	5,606	30	4.1	6,824	4.6	—	99.0	1,512
37期末(2018年1月22日)	5,939	30	6.5	7,425	8.8	—	99.2	1,553
38期末(2018年2月20日)	5,557	30	△ 5.9	6,905	△ 7.0	—	99.4	1,407
39期末(2018年3月20日)	5,079	30	△ 8.1	6,241	△ 9.6	—	99.4	1,277
40期末(2018年4月20日)	5,271	30	4.4	6,577	5.4	—	98.9	1,248
41期末(2018年5月21日)	5,551	30	5.9	6,979	6.1	—	99.5	1,282
42期末(2018年6月20日)	5,489	30	△ 0.6	6,897	△ 1.2	—	99.3	1,176
43期末(2018年7月20日)	5,671	30	3.9	7,147	3.6	—	99.1	1,193
44期末(2018年8月20日)	5,897	30	4.5	7,639	6.9	—	99.1	1,107
45期末(2018年9月20日)	5,596	30	△ 4.6	7,390	△ 3.3	—	96.4	981
46期末(2018年10月22日)	5,433	30	△ 2.4	7,218	△ 2.3	—	99.5	901
47期末(2018年11月20日)	4,986	30	△ 7.7	6,755	△ 6.4	—	99.4	794
48期末(2018年12月20日)	4,647	30	△ 6.2	6,286	△ 7.0	—	99.3	737
49期末(2019年1月21日)	4,973	30	7.7	6,790	8.0	—	98.6	786
50期末(2019年2月20日)	5,138	30	3.9	7,098	4.5	—	99.4	805
51期末(2019年3月20日)	5,098	30	△ 0.2	7,090	△ 0.1	—	98.8	794
52期末(2019年4月22日)	4,985	30	△ 1.6	6,977	△ 1.6	—	99.5	770
53期末(2019年5月20日)	5,065	30	2.2	7,156	2.6	—	99.4	774
54期末(2019年6月20日)	4,844	30	△ 3.8	6,945	△ 2.9	—	99.3	725
55期末(2019年7月22日)	4,933	30	2.5	7,181	3.4	—	99.2	738
56期末(2019年8月20日)	4,508	30	△ 8.0	6,682	△ 6.9	—	98.7	668
57期末(2019年9月20日)	4,623	30	3.2	6,921	3.6	—	99.3	679
58期末(2019年10月21日)	4,267	30	△ 7.1	6,398	△ 7.6	—	99.3	625
59期末(2019年11月20日)	3,944	30	△ 6.9	5,830	△ 8.9	—	98.6	573
60期末(2019年12月20日)	4,188	30	6.9	6,420	10.1	—	99.3	565
61期末(2020年1月20日)	4,316	30	3.8	6,686	4.1	—	98.7	579
62期末(2020年2月20日)	4,019	30	△ 6.2	6,034	△ 9.8	—	98.3	525
63期末(2020年3月23日)	1,893	30	△ 52.2	2,728	△ 54.8	—	97.1	245
64期末(2020年4月20日)	2,367	30	26.6	3,384	24.1	—	97.8	309

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) アレリアンMLP指数(米ドルベース)は、Alerian MLP Total Return Index(米ドルベース)の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。Alerian MLP Total Return Index(米ドルベース)はGKD Index Partners LLC d/b/a Alerianが算出しており、その商標を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

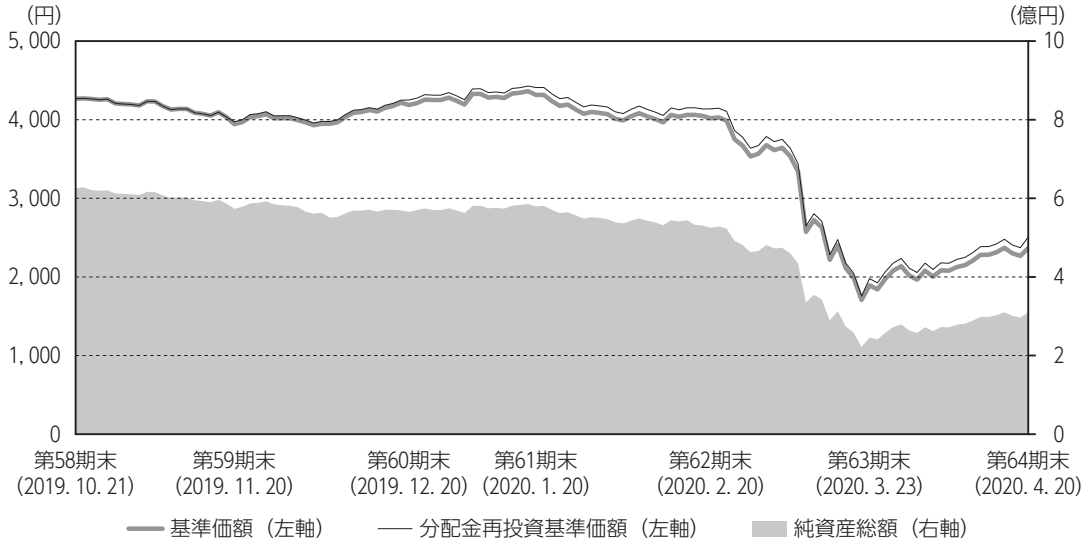
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

第59期首：4,267円

第64期末：2,367円（既払分配金180円）

騰落率：△41.3%（分配金再投資ベース）

#### 基準価額の主な変動要因

主にMLP（※）市況が下落したことから、基準価額は下落しました。また、外貨建資産への投資にあたっては、為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をめざしたため、為替相場の変動の基準価額への影響は軽微でした。為替ヘッジにかかるコストは基準価額の下落要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※MLPは、米国で行われている共同投資事業形態のひとつであり、その出資持分が米国の金融商品取引所等で取引されています。

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型） 日本円コース

	年 月 日	基 準 価 額		アレリアンMLP指数 (米ドルベース)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第59期	(期首)2019年10月21日	4,267	—	6,398	—	—	99.3
	10月末	4,194	△ 1.7	6,302	△ 1.5	—	98.9
	(期末)2019年11月20日	3,974	△ 6.9	5,830	△ 8.9	—	98.6
第60期	(期首)2019年11月20日	3,944	—	5,830	—	—	98.6
	11月末	4,021	2.0	5,978	2.5	—	99.2
	(期末)2019年12月20日	4,218	6.9	6,420	10.1	—	99.3
第61期	(期首)2019年12月20日	4,188	—	6,420	—	—	99.3
	12月末	4,241	1.3	6,485	1.0	—	98.8
	(期末)2020年1月20日	4,346	3.8	6,686	4.1	—	98.7
第62期	(期首)2020年1月20日	4,316	—	6,686	—	—	98.7
	1月末	4,072	△ 5.7	6,170	△ 7.7	—	98.5
	(期末)2020年2月20日	4,049	△ 6.2	6,034	△ 9.8	—	98.3
第63期	(期首)2020年2月20日	4,019	—	6,034	—	—	98.3
	2月末	3,533	△ 12.1	5,159	△ 14.5	—	97.7
	(期末)2020年3月23日	1,923	△ 52.2	2,728	△ 54.8	—	97.1
第64期	(期首)2020年3月23日	1,893	—	2,728	—	—	97.1
	3月末	1,966	3.9	2,525	△ 7.4	—	98.5
	(期末)2020年4月20日	2,397	26.6	3,384	24.1	—	97.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。



## 投資環境について

(2019. 10. 22 ~ 2020. 4. 20)

## ■MLP市況

MLP市況は大幅に下落しました。

MLP市況は、当作成期首から2020年2月中旬にかけては、レンジ相場（一定の価格帯の中で変動を繰り返す相場）となりました。2020年2月下旬から3月中旬にかけては、原油価格の急落や新型コロナウイルスの感染拡大によって世界的な景気減速懸念が高まったことから、MLP市況は大幅に下落しました。原油価格は、OPECプラス（石油輸出国機構加盟国とロシアなど非加盟国）の減産協議の決裂に加え、サウジアラビアが増産に転じる姿勢を示したことで、大幅に下落しました。当作成期末にかけては、各国の大胆な景気刺激策の発表や新型コロナウイルスの新規感染者数の増加ペースに鈍化傾向が見られたことなどから、MLP市況は反発しました。

## ■前作成期末における「今後の運用方針」

## ■当ファンド

アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

※アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）：CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）

## ■アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）

最終需要に裏打ちされた収益透明性の高い需要主導（デマンド・プル）型関連施設開発機会や、低コストで原油や天然ガスを生産する優良生産地域における生産活動の増加に関連した施設開発機会、激しい競争の影響が少なく成長が見込まれる川中MLPに注目していきます。ポートフォリオは、生産性の高い地域における施設、優れた経営陣やスポンサー（親会社）、潤沢な配当原資や負債比率の比較的低い良好な財務体質を持つ銘柄、平均を上回るキャッシュフロー成長率を示している銘柄に焦点を当てます。また、株価にプラスの影響があると期待されることから、資本構造の簡素化を図っているMLPにも注目しています。資本構造の簡素化を図るMLPの中には、MLPから株式会社の形態に変更するものもあり、エネルギー川中事業セクターにおける株式会社の数は増加傾向にあります。ファンドにおいては、このような株式会社にも投資してまいります。

また、為替変動リスクを低減するため為替ヘッジを行います。

## ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2019. 10. 22 ~ 2020. 4. 20)

### ■当ファンド

当ファンドは、アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期はアメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）を高位に組み入れました。

### ■アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）

当ファンドは、マクロ経済、エネルギー需要、地域別、業種別の動向を分析するトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当の安定性や成長性、経営陣の質、バリュエーションなどに焦点を当て分析するボトムアップ・アプローチを組み合わせ、ポートフォリオを構築しました。

セクターについては、パイプラインや貯蔵施設などの川中MLPや株式会社を中心に構成しました。また、地域、エネルギー種別（天然ガス、原油、石油精製品、天然ガス液）、川中事業における役割（集積、処理、輸送、貯蔵）を考慮して分散投資を行いました。

また、為替変動リスクを低減するため為替ヘッジを行いました。

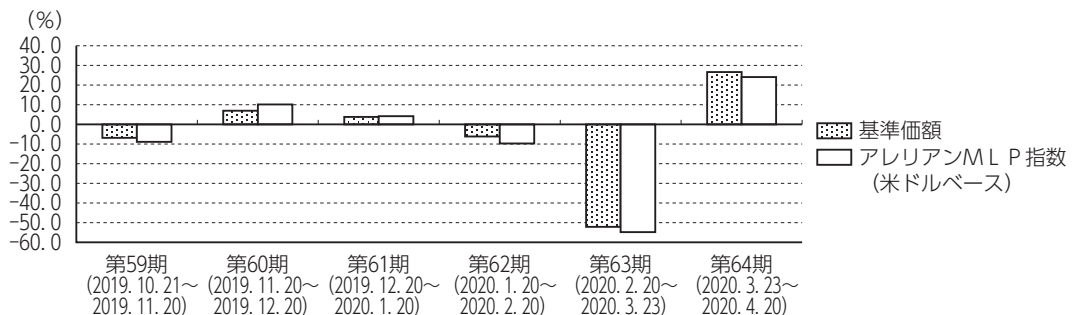
### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドは、参考指数と比較して「原油・精製品パイプライン、貯蔵」の組入比率が低いという特徴があります。参考指数はMLP市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第59期	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期
	2019年10月22日 ～2019年11月20日	2019年11月21日 ～2019年12月20日	2019年12月21日 ～2020年1月20日	2020年1月21日 ～2020年2月20日	2020年2月21日 ～2020年3月23日	2020年3月24日 ～2020年4月20日
<b>当期分配金(税込み) (円)</b>	<b>30</b>	<b>30</b>	<b>30</b>	<b>30</b>	<b>30</b>	<b>30</b>
対基準価額比率 (%)	0.75	0.71	0.69	0.74	1.56	1.25
当期の収益 (円)	27	30	30	26	27	30
当期の収益以外 (円)	2	—	—	3	2	—
翌期繰越分配対象額 (円)	763	765	765	762	760	762

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第59期	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 27.15円	✓ 31.20円	✓ 30.61円	✓ 26.93円	✓ 27.96円	✓ 31.51円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	375.53	376.94	378.24	379.53	381.00	383.88
(d) 分配準備積立金	✓ 391.13	386.88	386.78	✓ 386.11	✓ 381.58	376.67
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	793.83	795.03	795.64	792.57	790.55	792.06
(f) 分配金	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	763.83	765.03	765.64	762.57	760.55	762.06

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

### ■アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）

良好な財務体質、生産性の高い地域における施設の保有、低いカウンターパーティーリスク（取引相手の信用リスク）、優れた経営陣を有する企業が選好されると考えており、これらを重視したポートフォリオを構築します。

また、為替変動リスクを低減するため為替ヘッジを行います。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第59期～第64期 (2019. 10. 22～2020. 4. 20)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	23円	0. 643%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は3, 625円です。
(投 信 会 社)	(8)	(0. 219)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(15)	(0. 411)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(0)	(0. 013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	23	0. 646	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

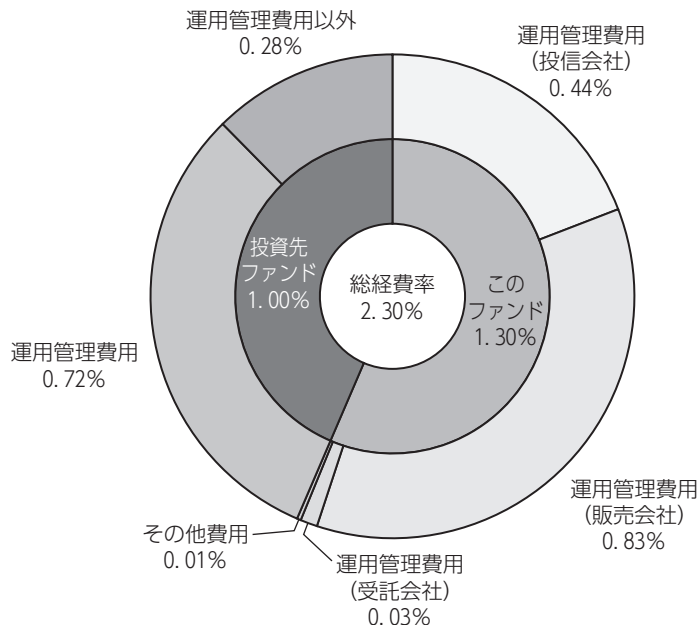
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.30%です。



総経費率（① + ② + ③）	2.30%
①このファンドの費用の比率	1.30%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.72%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.28%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

(1) 投資信託受益証券

(2019年10月22日から2020年4月20日まで)

決算期	第 59 期 ~ 第 64 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	1,090.07384	30,709	2,975.6572	100,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。  
 (注2) 金額は受渡し代金。  
 (注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2019年10月22日から2020年4月20日まで)

決算期	第 59 期 ~ 第 64 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マナー・マザーファンド	—	—	137	140

(注) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄  
投資信託受益証券

(2019年10月22日から2020年4月20日まで)

買 付	第 59 期 ~			平均単価	売 付	第 64 期			
	銘 柄	□ 数	金 額			銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
			千口			千円	円		千口
AMERICAN MLP FUND JPY HEDGED CLASS (ケイマン諸島)		274.36348	5,000	18	AMERICAN MLP FUND JPY HEDGED CLASS (ケイマン諸島)	2,975.6572	100,000	33	

(注1) 金額は受渡し代金。  
 (注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 64 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) AMERICAN MLP FUND JPY HEDGED CLASS	14,162.30954	302,818	97.8

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。  
 (注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第58期末	第 64 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マナー・マザーファンド	144	6	7

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年4月20日現在

項 目	第 64 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	302,818	96.5
ダイワ・マナー・マザーファンド	7	0.0
コール・ローン等、その他	10,954	3.5
投資信託財産総額	313,780	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

# ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型） 日本円コース

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年11月20日)、(2019年12月20日)、(2020年1月20日)、(2020年2月20日)、(2020年3月23日)、(2020年4月20日)現在

項目	第59期末	第60期末	第61期末	第62期末	第63期末	第64期末
<b>(A) 資産</b>	<b>579,106,136円</b>	<b>587,850,162円</b>	<b>583,942,837円</b>	<b>558,175,567円</b>	<b>250,137,216円</b>	<b>313,780,462円</b>
コール・ローン等	13,901,148	12,067,492	12,299,272	11,896,804	11,425,269	10,954,876
投資信託受益証券（評価額）	565,057,903	561,775,586	571,636,481	516,271,680	238,704,863	302,818,502
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	147,085	7,085	7,084	7,084	7,084	7,084
未収入金	—	13,999,999	—	29,999,999	—	—
<b>(B) 負債</b>	<b>5,852,240</b>	<b>22,295,641</b>	<b>4,666,435</b>	<b>32,983,940</b>	<b>4,367,935</b>	<b>4,221,987</b>
未払金	—	7,000,000	—	15,000,000	—	—
未払収益分配金	4,360,699	4,050,872	4,026,361	3,920,571	3,894,044	3,923,793
未払解約金	843,446	10,630,578	—	13,446,732	980	—
未払信託報酬	643,998	606,242	628,130	600,873	454,263	277,782
その他未払費用	4,097	7,949	11,944	15,764	18,648	20,412
<b>(C) 純資産総額（A－B）</b>	<b>573,253,896</b>	<b>565,554,521</b>	<b>579,276,402</b>	<b>525,191,627</b>	<b>245,769,281</b>	<b>309,558,475</b>
元本	1,453,566,375	1,350,290,798	1,342,120,345	1,306,857,066	1,298,014,939	1,307,931,325
次期繰越損益金	△ 880,312,479	△ 784,736,277	△ 762,843,943	△ 781,665,439	△ 1,052,245,658	△ 998,372,850
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>1,453,566,375口</b>	<b>1,350,290,798口</b>	<b>1,342,120,345口</b>	<b>1,306,857,066口</b>	<b>1,298,014,939口</b>	<b>1,307,931,325口</b>
1万口当り基準価額（C/D）	<b>3,944円</b>	<b>4,188円</b>	<b>4,316円</b>	<b>4,019円</b>	<b>1,893円</b>	<b>2,367円</b>

\*第58期末における元本額は1,466,084,531円、当作成期間（第59期～第64期）中における追加設定元本額は34,293,375円、同解約元本額は192,446,581円です。

\*第64期末の計算口数当りの純資産額は2,367円です。

\*第64期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は998,372,850円です。

## ■損益の状況

第59期 自 2019年10月22日 至 2019年11月20日      第61期 自 2019年12月21日 至 2020年1月20日      第63期 自 2020年2月21日 至 2020年3月23日  
 第60期 自 2019年11月21日 至 2019年12月20日      第62期 自 2020年1月21日 至 2020年2月20日      第64期 自 2020年3月24日 至 2020年4月20日

項目	第59期	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>4,594,992円</b>	<b>4,282,817円</b>	<b>4,230,971円</b>	<b>4,124,279円</b>	<b>4,087,578円</b>	<b>4,139,522円</b>
受取配当金	4,595,227	4,283,010	4,231,341	4,124,411	4,087,892	4,139,618
受取利息	—	5	—	—	—	4
支払利息	△ 235	△ 198	△ 370	△ 132	△ 314	△ 100
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>△ 46,618,953</b>	<b>33,407,109</b>	<b>17,571,295</b>	<b>△ 38,461,286</b>	<b>△ 275,564,426</b>	<b>61,973,629</b>
売買益	52,872	34,296,366	17,629,119	1,098,041	1,099,543	61,973,987
売買損	△ 46,671,825	△ 889,257	△ 57,824	△ 39,559,327	△ 276,663,969	△ 358
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 648,095</b>	<b>△ 610,097</b>	<b>△ 632,125</b>	<b>△ 604,693</b>	<b>△ 457,147</b>	<b>△ 279,546</b>
<b>(D) 当期繰越損益金（A+B+C）</b>	<b>△ 42,672,056</b>	<b>△ 37,079,829</b>	<b>△ 21,170,141</b>	<b>△ 34,941,700</b>	<b>△ 271,933,995</b>	<b>△ 65,833,605</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>△ 552,336,404</b>	<b>△ 554,770,823</b>	<b>△ 516,840,442</b>	<b>△ 484,953,621</b>	<b>△ 518,284,492</b>	<b>△ 794,106,456</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>△ 280,943,320</b>	<b>△ 262,994,411</b>	<b>△ 263,147,281</b>	<b>△ 257,849,547</b>	<b>△ 258,133,127</b>	<b>△ 266,176,206</b>
（配当等相当額）	（ 54,587,165）	（ 50,898,316）	（ 50,765,521）	（ 49,599,802）	（ 49,454,776）	（ 50,209,295）
（売買損益相当額）	（△ 335,530,485）	（△ 313,892,727）	（△ 313,912,802）	（△ 307,449,349）	（△ 307,587,903）	（△ 316,385,501）
<b>(G) 合計（D+E+F）</b>	<b>△ 875,951,780</b>	<b>△ 780,685,405</b>	<b>△ 758,817,582</b>	<b>△ 777,744,868</b>	<b>△ 1,048,351,614</b>	<b>△ 994,449,057</b>
<b>(H) 収益分配金</b>	<b>△ 4,360,699</b>	<b>△ 4,050,872</b>	<b>△ 4,026,361</b>	<b>△ 3,920,571</b>	<b>△ 3,894,044</b>	<b>△ 3,923,793</b>
次期繰越損益金（G+H）	△ 880,312,479	△ 784,736,277	△ 762,843,943	△ 781,665,439	△ 1,052,245,658	△ 998,372,850
追加信託差損益金	△ 280,943,320	△ 262,994,411	△ 263,147,281	△ 257,849,547	△ 258,133,127	△ 266,176,206
（配当等相当額）	（ 54,587,165）	（ 50,898,316）	（ 50,765,521）	（ 49,599,802）	（ 49,454,776）	（ 50,209,295）
（売買損益相当額）	（△ 335,530,485）	（△ 313,892,727）	（△ 313,912,802）	（△ 307,449,349）	（△ 307,587,903）	（△ 316,385,501）
分配準備積立金	56,440,935	52,403,872	51,993,486	50,058,486	49,266,265	49,464,117
繰越損益金	△ 655,810,094	△ 574,145,738	△ 551,690,148	△ 573,874,378	△ 843,378,796	△ 781,660,761

（注1）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

（注3）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。



■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第59期	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期
(a) 経費控除後の配当等収益	3,946,896円	4,213,510円	4,108,276円	3,519,586円	3,630,431円	4,122,022円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	54,587,165	50,898,316	50,765,521	49,599,802	49,454,776	50,209,295
(d) 分配準備積立金	56,854,738	52,241,234	51,911,571	50,459,471	49,529,878	49,265,888
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	115,388,799	107,353,060	106,785,368	103,578,859	102,615,085	103,597,205
(f) 分配金	4,360,699	4,050,872	4,026,361	3,920,571	3,894,044	3,923,793
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	111,028,100	103,302,188	102,759,007	99,658,288	98,721,041	99,673,412
(h) 受益権総口数	1,453,566,375口	1,350,290,798口	1,342,120,345口	1,306,857,066口	1,298,014,939口	1,307,931,325口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第59期	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期
		30円	30円	30円	30円	30円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。</li> <li>・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。</li> <li>・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。</li> <li>・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。</li> </ul>
---

<p>《お知らせ》</p> <p>■商号変更について</p> <p>大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。</p>
---

通貨αコース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産額
	(分配落)	税込み分配金	期騰落率			
	円	円	%	%	%	百万円
35期末(2017年11月20日)	4,456	70	△ 3.1	—	98.5	4,159
36期末(2017年12月20日)	4,608	70	5.0	—	97.6	4,164
37期末(2018年1月22日)	4,769	70	5.0	—	99.5	4,029
38期末(2018年2月20日)	4,266	70	△ 9.1	—	99.5	3,588
39期末(2018年3月20日)	3,864	70	△ 7.8	—	98.9	3,151
40期末(2018年4月20日)	4,021	70	5.9	—	99.5	3,227
41期末(2018年5月21日)	4,276	70	8.1	—	99.5	3,336
42期末(2018年6月20日)	4,173	70	△ 0.8	—	99.5	3,107
43期末(2018年7月20日)	4,349	70	5.9	—	99.4	3,320
44期末(2018年8月20日)	4,420	70	3.2	—	99.4	3,398
45期末(2018年9月20日)	4,214	70	△ 3.1	—	99.4	3,159
46期末(2018年10月22日)	4,053	70	△ 2.2	—	98.4	3,027
47期末(2018年11月20日)	3,691	70	△ 7.2	—	98.1	2,715
48期末(2018年12月20日)	3,426	45	△ 6.0	—	99.1	2,385
49期末(2019年1月21日)	3,575	45	5.7	—	98.7	2,443
50期末(2019年2月20日)	3,699	45	4.7	—	98.8	2,517
51期末(2019年3月20日)	3,673	45	0.5	—	99.2	2,462
52期末(2019年4月22日)	3,593	45	△ 1.0	—	98.7	2,333
53期末(2019年5月20日)	3,586	45	1.1	—	98.9	2,296
54期末(2019年6月20日)	3,377	45	△ 4.6	—	98.7	2,096
55期末(2019年7月22日)	3,409	45	2.3	—	99.2	2,095
56期末(2019年8月20日)	3,064	45	△ 8.8	—	99.0	1,854
57期末(2019年9月20日)	3,154	45	4.4	—	98.4	1,869
58期末(2019年10月21日)	2,907	45	△ 6.4	—	99.5	1,690
59期末(2019年11月20日)	2,669	45	△ 6.6	—	99.4	1,475
60期末(2019年12月20日)	2,833	45	7.8	—	99.0	1,527
61期末(2020年1月20日)	2,934	30	4.6	—	99.1	1,579
62期末(2020年2月20日)	2,737	30	△ 5.7	—	97.4	1,351
63期末(2020年3月23日)	1,262	30	△ 52.8	—	96.5	607
64期末(2020年4月20日)	1,561	30	26.1	—	98.1	734

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

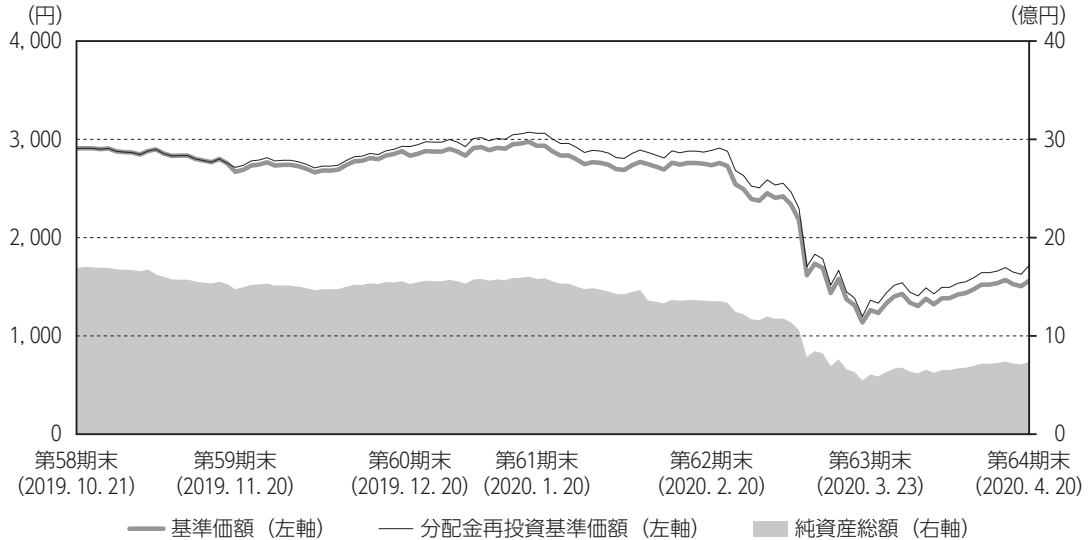
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■ 基準価額・騰落率

第59期首：2,907円

第64期末：1,561円（既払分配金210円）

騰落率：△40.9%（分配金再投資ベース）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

オプションのプレミアム収入（円に対する米ドルのコール・オプション（買う権利）の売却）はプラス要因となったものの、主にMLP（※）市況が下落したことから、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※MLPは、米国で行われている共同投資事業形態のひとつであり、その出資持分が米国の金融商品取引所等で取引されています。

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型） 通貨αコース

	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰 落 率 %		
第59期	(期首) 2019年10月21日	2,907	—	—	99.5
	10月末	2,867	△ 1.4	—	98.8
	(期末) 2019年11月20日	2,714	△ 6.6	—	99.4
第60期	(期首) 2019年11月20日	2,669	—	—	99.4
	11月末	2,741	2.7	—	99.1
	(期末) 2019年12月20日	2,878	7.8	—	99.0
第61期	(期首) 2019年12月20日	2,833	—	—	99.0
	12月末	2,876	1.5	—	98.8
	(期末) 2020年1月20日	2,964	4.6	—	99.1
第62期	(期首) 2020年1月20日	2,934	—	—	99.1
	1月末	2,742	△ 6.5	—	99.4
	(期末) 2020年2月20日	2,767	△ 5.7	—	97.4
第63期	(期首) 2020年2月20日	2,737	—	—	97.4
	2月末	2,393	△ 12.6	—	98.2
	(期末) 2020年3月23日	1,292	△ 52.8	—	96.5
第64期	(期首) 2020年3月23日	1,262	—	—	96.5
	3月末	1,303	3.2	—	97.7
	(期末) 2020年4月20日	1,591	26.1	—	98.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

**投資環境について**

(2019. 10. 22 ~ 2020. 4. 20)

**MLP市況**

MLP市況は大幅に下落しました。

MLP市況は、当作成期首から2020年2月中旬にかけては、レンジ相場（一定の価格帯の中で変動を繰り返す相場）となりました。2020年2月下旬から3月中旬にかけては、原油価格の急落や新型コロナウイルスの感染拡大によって世界的な景気減速懸念が高まったことから、MLP市況は大幅に下落しました。原油価格は、OPECプラス（石油輸出国機構加盟国とロシアなど非加盟国）の減産協議の決裂に加え、サウジアラビアが増産に転じる姿勢を示したことで、大幅に下落しました。当作成期末にかけては、各国の大胆な景気刺激策の発表や新型コロナウイルスの新規感染者数の増加ペースに鈍化傾向が見られたことなどから、MLP市況は反発しました。

**為替相場**

米ドル円為替相場は小幅に下落（円高）しました。

米ドル円相場は、当作成期首から2020年2月中旬にかけては小動きでした。2020年2月下旬から3月上旬にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大によって世界的な景気減速懸念が高まったことから投資家心理が悪化し、米ドル円は下落しました。3月下旬にかけては、市場の混乱が米ドル需要の高まりにつながったことから反発しましたが、当作成期末にかけては、FRB（米国連邦準備制度理事会）を中心とした当局の対応を受けて市場が落ち着いたことから米ドル買いの動きが抑制され、当作成期首と比べ小幅安の水準まで下落しました。

**通貨オプション相場**

通貨オプションのボラティリティは上昇しました。

2020年2月下旬以降、新型コロナウイルスの感染拡大により市場のリスク回避姿勢が強まる中で、米ドル円は下落し、ボラティリティは上昇しました。しかしその後は、各国の政府や中央銀行が新型コロナウイルス対策を拡充したことにより市場のリスク回避姿勢は和らぎ、ボラティリティは低下しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

※アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）：CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）

### ■アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）

最終需要に裏打ちされた収益透明性の高い需要主導（デマンド・プル）型関連施設開発機会や、低コストで原油や天然ガスを生産する優良生産地域における生産活動の増加に関連した施設開発機会、激しい競争の影響が少なく成長が見込まれる川中MLPに注目していきます。ポートフォリオは、生産性の高い地域における施設、優れた経営陣やスポンサー（親会社）、潤沢な配当原資や負債比率の比較的低い良好な財務体質を持つ銘柄、平均を上回るキャッシュフロー成長率を示している銘柄に焦点を当てます。また、株価にプラスの影響があると期待されることから、資本構造の簡素化を図っているMLPにも注目しています。資本構造の簡素化を図るMLPの中には、MLPから株式会社の形態に変更するものもあり、エネルギー川中事業セクターにおける株式会社の数は増加傾向にあります。ファンドにおいては、このような株式会社にも投資してまいります。

円に対する米ドルのコール・オプション（買う権利）を売却することで、オプションのプレミアム収入の確保をめざします。また、オプションのカバー率は、保有する米ドル建資産の評価額の50%程度を維持する方針です。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2019. 10. 22 ~ 2020. 4. 20)

### ■当ファンド

当ファンドは、アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期はアメリカンMLPファンド（通貨αクラス）を高位に組み入れました。

### ■アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）

当ファンドは、マクロ経済、エネルギー需要、地域別、業種別の動向を分析するトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当の安定性や成長性、経営陣の質、バリュエーションなどに焦点を当て分析するボトムアップ・アプローチを組み合わせ、ポートフォリオを構築しました。

セクターについては、パイプラインや貯蔵施設などの川中MLPや株式会社を中心に構成しました。また、地域、エネルギー種別（天然ガス、原油、石油精製品、天然ガス液）、川中事業における役割（集積、処理、輸送、貯蔵）を考慮して分散投資を行いました。

円に対する米ドルのコール・オプション（買う権利）を売却することで、オプションのプレミアム収入の確保をめざしました。また、オプションのカバー率は、保有する米ドル建資産の評価額の50%程度を維持しました。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第59期	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期
	2019年10月22日 ～2019年11月20日	2019年11月21日 ～2019年12月20日	2019年12月21日 ～2020年1月20日	2020年1月21日 ～2020年2月20日	2020年2月21日 ～2020年3月23日	2020年3月24日 ～2020年4月20日
<b>当期分配金(税込み) (円)</b>	<b>45</b>	<b>45</b>	<b>30</b>	<b>30</b>	<b>30</b>	<b>30</b>
対基準価額比率 (%)	1.66	1.56	1.01	1.08	2.32	1.89
当期の収益 (円)	26	29	28	26	26	28
当期の収益以外 (円)	18	15	1	3	3	1
翌期繰越分配対象額 (円)	726	710	709	705	701	700

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第59期	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 26.55円	✓ 29.04円	✓ 28.37円	✓ 26.12円	✓ 26.66円	✓ 28.88円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	460.44	462.12	463.77	464.78	465.80	468.08
(d) 分配準備積立金	✓ 284.73	✓ 264.60	✓ 246.99	✓ 244.37	✓ 239.48	✓ 233.87
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	771.73	755.77	739.15	735.28	731.94	730.84
(f) 分配金	45.00	45.00	30.00	30.00	30.00	30.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	726.73	710.77	709.15	705.28	701.94	700.84

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。





## 今後の運用方針

### ■当ファンド

アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

### ■アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）

良好な財務体質、生産性の高い地域における施設の保有、低いカウンターパーティーリスク（取引相手の信用リスク）、優れた経営陣を有する企業が選好されると考えており、これらを重視したポートフォリオを構築します。

円に対する米ドルのコール・オプション（買う権利）を売却することで、オプションのプレミアム収入の確保をめざします。また、オプションのカバー率は、保有する米ドル建資産の評価額の50%程度を維持する方針です。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第59期～第64期 (2019. 10. 22～2020. 4. 20)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	16円	0.643%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は2,451円です。
（投 信 会 社）	(5)	(0.219)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(10)	(0.411)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(0)	(0.013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	1	0.030	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託受益証券）	(1)	(0.030)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.002	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	17	0.675	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

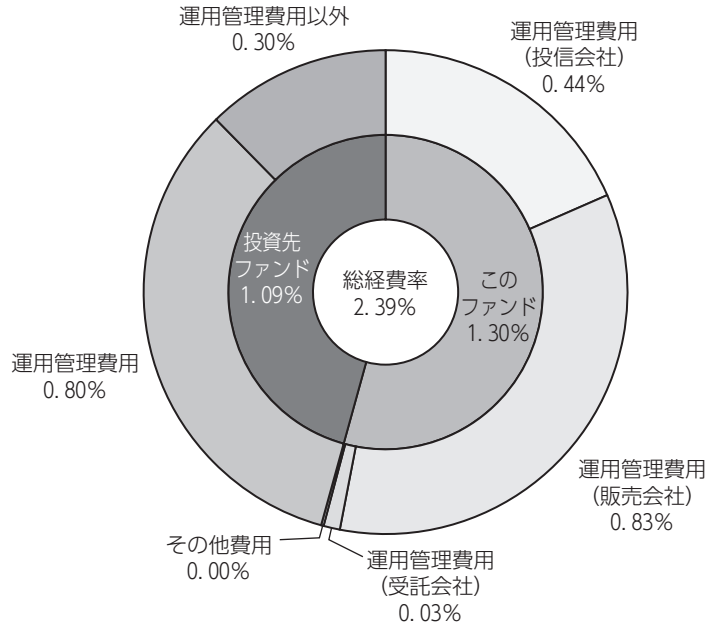
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.39%です。



総経費率 ( ① + ② + ③ )	2.39%
①このファンドの費用の比率	1.30%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.80%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.30%

- (注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
- (注3) 各比率は、年率換算した値です。
- (注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
- (注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
- (注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- (注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

(1) 投資信託受益証券

(2019年10月22日から2020年4月20日まで)

決算期	第 59 期 ~ 第 64 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	3,957.51618	91,778	16,733.0416	410,589

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。  
 (注2) 金額は受渡し代金。  
 (注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2019年10月22日から2020年4月20日まで)

決算期	第 59 期 ~ 第 64 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マナー・マザーファンド	—	—	668	680

(注) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄  
投資信託受益証券

(2019年10月22日から2020年4月20日まで)

買 付	第 59 期 ~			平均単価	売 付	第 64 期			
	銘 柄	□ 数	金 額			銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
		千口	千円			円		千口	千円
					AMERICAN MLP FUND CURRENCY ALPHA CLASS (ケイマン諸島)	16,733.0416	410,589	24	

(注1) 金額は受渡し代金。  
 (注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 64 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) AMERICAN MLP FUND CURRENCY ALPHA CLASS	46,753.64389	720,660	98.1

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。  
 (注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第58期末	第 64 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マナー・マザーファンド	677	9	9

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年4月20日現在

項 目	第 64 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	720,660	96.1
ダイワ・マナー・マザーファンド	9	0.0
コール・ローン等、その他	28,956	3.9
投資信託財産総額	749,627	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年11月20日)、(2019年12月20日)、(2020年1月20日)、(2020年2月20日)、(2020年3月23日)、(2020年4月20日)現在

項 目	第59期末	第60期末	第61期末	第62期末	第63期末	第64期末
<b>(A) 資産</b>	<b>1,505,444,243円</b>	<b>1,582,888,288円</b>	<b>1,597,965,232円</b>	<b>1,389,321,809円</b>	<b>633,041,786円</b>	<b>749,627,260円</b>
コール・ローン等	38,281,132	50,597,412	33,220,693	32,951,211	27,286,517	28,956,952
投資信託受益証券（評価額）	1,466,473,467	1,512,301,234	1,564,734,897	1,316,400,956	585,765,628	720,660,666
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	689,644	9,643	9,642	9,642	9,642	9,642
未収入金	—	19,979,999	—	39,960,000	19,979,999	—
<b>(B) 負債</b>	<b>30,345,542</b>	<b>55,541,590</b>	<b>18,394,887</b>	<b>37,514,430</b>	<b>25,905,689</b>	<b>14,847,330</b>
未払金	—	9,990,000	—	19,980,000	9,990,000	—
未払収益分配金	24,866,081	24,261,479	16,152,080	14,818,103	14,431,698	14,122,844
未払解約金	3,747,101	19,669,777	497,889	1,101,900	303,799	2,286
未払信託報酬	1,721,386	1,599,171	1,712,836	1,572,322	1,130,884	668,628
その他未払費用	10,974	21,163	32,082	42,105	49,308	53,572
<b>(C) 純資産総額（A－B）</b>	<b>1,475,098,701</b>	<b>1,527,346,698</b>	<b>1,579,570,345</b>	<b>1,351,807,379</b>	<b>607,136,097</b>	<b>734,779,930</b>
元本	5,525,795,871	5,391,439,825	5,384,026,961	4,939,367,838	4,810,566,061	4,707,614,897
次期繰越損益金	△ 4,050,697,170	△ 3,864,093,127	△ 3,804,456,616	△ 3,587,560,459	△ 4,203,429,964	△ 3,972,834,967
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>5,525,795,871口</b>	<b>5,391,439,825口</b>	<b>5,384,026,961口</b>	<b>4,939,367,838口</b>	<b>4,810,566,061口</b>	<b>4,707,614,897口</b>
1万口当り基準価額（C/D）	<b>2,669円</b>	<b>2,833円</b>	<b>2,934円</b>	<b>2,737円</b>	<b>1,262円</b>	<b>1,561円</b>

\*第58期末における元本額は5,816,167,116円、当作成期間（第59期～第64期）中における追加設定元本額は195,261,300円、同解約元本額は1,303,813,519円です。

\*第64期末の計算口数当りの純資産額は1,561円です。

\*第64期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は3,972,834,967円です。

■損益の状況

第59期 自 2019年10月22日 至 2019年11月20日      第61期 自 2019年12月21日 至 2020年1月20日      第63期 自 2020年2月21日 至 2020年3月23日  
 第60期 自 2019年11月21日 至 2019年12月20日      第62期 自 2020年1月21日 至 2020年2月20日      第64期 自 2020年3月24日 至 2020年4月20日

項 目	第59期	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>16,404,097円</b>	<b>15,881,696円</b>	<b>15,651,907円</b>	<b>14,487,922円</b>	<b>13,963,846円</b>	<b>13,658,702円</b>
受取配当金	16,404,828	15,882,055	15,653,059	14,488,175	13,964,588	13,658,938
受取利息	8	3	1	2	—	17
支払利息	△ 739	△ 362	△ 1,153	△ 255	△ 742	△ 253
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>△ 121,084,717</b>	<b>98,096,197</b>	<b>56,521,215</b>	<b>△ 95,383,534</b>	<b>△ 707,676,805</b>	<b>141,718,102</b>
売買益	1,381,570	99,631,702	56,698,912	7,842,118	7,010,293	142,207,385
売買損	△ 122,466,287	△ 1,535,505	△ 177,697	△ 103,225,652	△ 714,687,098	△ 489,283
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 1,732,360</b>	<b>△ 1,609,364</b>	<b>△ 1,723,755</b>	<b>△ 1,582,345</b>	<b>△ 1,138,087</b>	<b>△ 672,892</b>
<b>(D) 当期損益金（A＋B＋C）</b>	<b>△ 106,412,980</b>	<b>112,368,529</b>	<b>70,449,367</b>	<b>△ 82,477,957</b>	<b>△ 694,851,046</b>	<b>154,703,912</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>△ 2,860,044,380</b>	<b>△ 2,900,142,513</b>	<b>△ 2,789,567,524</b>	<b>△ 2,499,120,620</b>	<b>△ 2,517,998,940</b>	<b>△ 3,127,860,793</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>△ 1,059,373,729</b>	<b>△ 1,052,057,664</b>	<b>△ 1,069,186,379</b>	<b>△ 991,143,779</b>	<b>△ 976,148,280</b>	<b>△ 985,555,242</b>
(配当等相当額)	( 254,432,701)	( 249,154,451)	( 249,700,255)	( 229,573,236)	( 224,079,628)	( 220,354,488)
(売買損益相当額)	(△ 1,313,806,430)	(△ 1,301,212,115)	(△ 1,318,886,634)	(△ 1,220,717,015)	(△ 1,200,227,908)	(△ 1,205,909,730)
<b>(G) 合計（D＋E＋F）</b>	<b>△ 4,025,831,089</b>	<b>△ 3,839,831,648</b>	<b>△ 3,788,304,536</b>	<b>△ 3,572,742,356</b>	<b>△ 4,188,998,266</b>	<b>△ 3,958,712,123</b>
<b>(H) 収益分配金</b>	<b>24,866,081</b>	<b>△ 24,261,479</b>	<b>△ 16,152,080</b>	<b>△ 14,818,103</b>	<b>△ 14,431,698</b>	<b>△ 14,122,844</b>
次期繰越損益金（G＋H）	△ 4,050,697,170	△ 3,864,093,127	△ 3,804,456,616	△ 3,587,560,459	△ 4,203,429,964	△ 3,972,834,967
追加信託差損益金	△ 1,059,373,729	△ 1,052,057,664	△ 1,069,186,379	△ 991,143,779	△ 976,148,280	△ 985,555,242
(配当等相当額)	( 254,432,701)	( 249,154,451)	( 249,700,255)	( 229,573,236)	( 224,079,628)	( 220,354,488)
(売買損益相当額)	(△ 1,313,806,430)	(△ 1,301,212,115)	(△ 1,318,886,634)	(△ 1,220,717,015)	(△ 1,200,227,908)	(△ 1,205,909,730)
分配準備積立金	147,143,996	134,054,809	132,109,666	118,791,449	113,597,735	109,574,909
繰越損益金	△ 3,138,467,437	△ 2,946,090,272	△ 2,867,379,903	△ 2,715,208,129	△ 3,340,879,419	△ 3,096,854,634

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第59期	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期
(a) 経費控除後の配当等収益	14,671,717円	15,657,507円	15,278,025円	12,905,577円	12,825,759円	13,599,555円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	254,432,701	249,154,451	249,700,255	229,573,236	224,079,628	220,354,488
(d) 分配準備積立金	157,338,360	142,658,781	132,983,721	120,703,975	115,203,674	110,098,198
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	426,442,778	407,470,739	397,962,001	363,182,788	352,109,061	344,052,241
(f) 分配金	24,866,081	24,261,479	16,152,080	14,818,103	14,431,698	14,122,844
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	401,576,697	383,209,260	381,809,921	348,364,685	337,677,363	329,929,397
(h) 受益権総口数	5,525,795,871口	5,391,439,825口	5,384,026,961口	4,939,367,838口	4,810,566,061口	4,707,614,897口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第59期	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期
		45円	45円	30円	30円	30円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド  
ノンヘッジクラス／円ヘッジクラス／通貨αクラス

当ファンド（ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型）米ドルコース／日本円コース／通貨αコース）はケイマン籍の外国投資信託「CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド ノンヘッジクラス／円ヘッジクラス／通貨αクラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2020年4月20日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（米ドル建て）

貸借対照表  
2019年3月31日現在

<b>資産</b>	
投資資産の評価額（簿価 \$50,637,722）	\$ 53,590,663
現金	1,252
外国為替先渡契約による評価益	43,339
売却済みの投資からの未収入金	241,140
未取法人税等	3,414,693
その他資産	25,959
<b>資産合計</b>	<b>57,317,046</b>
<b>負債</b>	
売建てオプションの評価額（受取済プレミアム \$69,928）	42,851
未払：	
購入済みの投資	166,823
専門家報酬	109,900
収益税	117,610
運用会社報酬	21,248
会計および管理会社報酬	8,821
保管会社報酬	10,464
為替運用会社報酬	1,835
名義書換代理人報酬	1,855
計算代理人報酬	181
<b>負債合計</b>	<b>481,588</b>
<b>純資産</b>	<b>\$ 56,835,458</b>
<b>純資産の内訳：</b>	
払込資本金	\$ 283,035,956
（受益者への分配金）	(102,734,618)
繰越損失	(123,465,880)
<b>純資産</b>	<b>\$ 56,835,458</b>
<b>クラス別純資産：</b>	
通貨αクラス	\$ 21,795,376
円ヘッジクラス	7,090,181
ノンヘッジクラス	27,949,901
	<b>\$ 56,835,458</b>

## ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型）

<b>発行済み受益証券</b>		
通貨αクラス		70,447,929
円ヘッジクラス		17,050,050
ノンヘッジクラス		58,888,113

<b>受益証券1口当り純資産額</b>		
通貨αクラス	\$	0.309
円ヘッジクラス	\$	0.416
ノンヘッジクラス	\$	0.475

### 損益計算書

2019年3月31日に終了した年度

#### 投資収益

配当収益（源泉徴収税 \$85,029控除後）	\$	338,140
マスター・リミテッド・パートナーシップからの分配金 （元本払戻金（特別分配金））		4,214,032 (4,214,032)
受取利息		15,542
<b>投資収益合計</b>		<u>353,682</u>

#### 費用

運用会社報酬		342,894
専門家報酬		197,900
会計および管理会社報酬		57,349
保管会社報酬		56,976
為替運用会社報酬		26,180
受託会社報酬		13,019
名義書換代理人報酬		14,384
登録料		7,011
計算代理人報酬		2,320
州法人税		296
<b>費用合計</b>		<u>718,329</u>

<b>税引前投資純損失</b>	(364,647)
当期法人税控除額	186,479
<b>税引後投資純損失</b>	<u>(178,168)</u>

#### 実現利益（損）および評価益（損）：

##### 実現利益（損）：

証券投資	1,780,217
外国為替取引および外国為替先渡契約	(927,841)
売建オプション	(396,968)
<b>純実現利益</b>	<u>455,408</u>

##### 評価益（損）の純変動：

証券投資	8,422,229
外国為替換算および外国為替先渡契約	175,601
売建オプション	(31,494)
<b>評価益の純変動</b>	<u>8,566,336</u>

<b>純実現および純評価益</b>	<u>9,021,744</u>
-------------------	------------------

<b>運用による純資産の純増</b>	<u>\$ 8,843,576</u>
--------------------	---------------------



投資明細表

2019年3月31日現在

出資口数	有価証券の明細	評価額
	<b>米国 (94.3%)</b>	
	普通株 (17.3%)	
	集積・処理 (7.4%)	
98,434	Antero Midstream Corp.	\$ 1,356,421
224,955	EnLink Midstream LLC	2,874,925
		<hr/> 4,231,346
	<b>天然ガスパイプライン・貯蔵 (9.9%)</b>	
27,579	Cheniere Energy, Inc.	1,885,300
83,732	Tallgrass Energy LP	2,105,022
56,240	Williams Cos, Inc.	1,615,213
		<hr/> 5,605,535
	<b>普通株合計 (簿価 \$9,327,408)</b>	<b>\$ 9,836,881</b>
	<b>マスター・リミテッド・パートナーシップ (76.1%)</b>	
	コングロマリット MIDSTREAM (17.9%)	
336,277	Energy Transfer LP	5,168,577
171,239	Enterprise Products Partners LP	4,983,055
		<hr/> 10,151,632
	<b>集積・処理 (21.9%)</b>	
69,681	Crestwood Equity Partners LP	2,452,074
36,150	DCP Midstream LP	1,194,757
122,357	Enable Midstream Partners LP	1,752,152
53,487	Hess Midstream Partners LP	1,133,924
98,825	MPLX LP	3,250,355
70,700	Summit Midstream Partners LP	687,911
62,474	Western Midstream Partners LP	1,959,185
		<hr/> 12,430,358
	<b>天然ガスパイプライン・貯蔵 (8.1%)</b>	
27,900	Cheniere Energy Partners LP	1,169,847
60,880	EQM Midstream Partners LP	2,810,830
16,900	TC PipeLines LP	631,384
		<hr/> 4,612,061
	<b>原油・精製品のパイプライン・貯蔵 (26.9%)</b>	
42,957	Andeavor Logistics LP	1,514,664
97,025	Buckeye Partners LP	3,300,791
65,313	Magellan Midstream Partners LP	3,959,927
183,387	Plains All American Pipeline LP	4,494,815
99,500	Shell Midstream Partners LP	2,034,775
		<hr/> 15,304,972
	<b>油田サービス (1.3%)</b>	
48,800	USA Compression Partners LP	761,768
		<hr/> 761,768
	<b>マスター・リミテッド・パートナーシップ合計 (簿価 \$40,817,323)</b>	<b>\$ 43,260,791</b>
	<b>元本</b>	
	短期投資 (0.9%)	
	定期預金 (0.9%)	
USD 492,991	JP Morgan Chase, New York, 1.93%, due 2019/4/1	492,991
	<b>短期投資合計 (簿価 \$492,991)</b>	<b>\$ 492,991</b>
	<b>米国合計 (簿価 \$50,637,722) (94.3%)</b>	<b>\$ 53,590,663</b>
	<b>投資総額 (簿価 \$50,637,722) (94.3%)</b>	<b>53,590,663</b>
	<b>負債を超過する現金およびその他の資産 (5.7%)</b>	<b>3,244,795</b>
	<b>純資産 (100.0%)</b>	<b>\$ 56,835,458</b>

## ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型）

### 2019年3月31日現在の通貨αクラスの外国為替先渡契約残高

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価(損)	評価益/(損)
U S D	Morgan Stanley and Co. International	10,324	2019/4/1	J P Y	1,141,000	\$ 16	\$ -	\$ 16

### 2019年3月31日現在の円ヘッジクラスの外国為替先渡契約残高

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価(損)	評価益/(損)
J P Y	Brown Brothers Harriman & Co.	764,650,603	2019/4/25	U S D	6,879,145	\$ 43,323	\$ -	\$ 43,323

### 2019年3月31日現在の通貨αクラスの売建オプション取引内容

取引内容	取引相手	行使価格	行使期日	想定元本	受取済 プレミアム	評価額
Call - OTC Japanese Yen versus US Dollar	Citibank N. A. , Tokyo	¥ 111.47	2019/4/5	3,500,000	\$ (22,042)	\$ (2,391)
Call - OTC Japanese Yen versus US Dollar	Citibank N. A. , Tokyo	110.91	2019/4/12	4,000,000	(25,435)	(13,117)
Call - OTC Japanese Yen versus US Dollar	Nomura Securities Co. , Ltd.	110.14	2019/4/25	3,500,000	(22,451)	(27,343)
					\$ (69,928)	\$ (42,851)

### 通貨の略称

J P Y	-	日本円
U S D	-	米ドル

<補足情報>

当ファンド（ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型）米ドルコース／日本円コース／通貨αコース）が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2019年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第64期の決算日（2020年4月20日）現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄

2019年10月22日～2020年4月20日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

下記は、2020年4月20日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（61,410,228千円）の内容です。

国内その他有価証券

	2020年4月20日現在	
	評 価 額	比 率
	千円	%
国内短期社債等	999,997	<1.6>

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

# ダイワ・マネー・マザーファンド

## 運用報告書 第15期（決算日 2019年12月9日）

（作成対象期間 2018年12月11日～2019年12月9日）

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

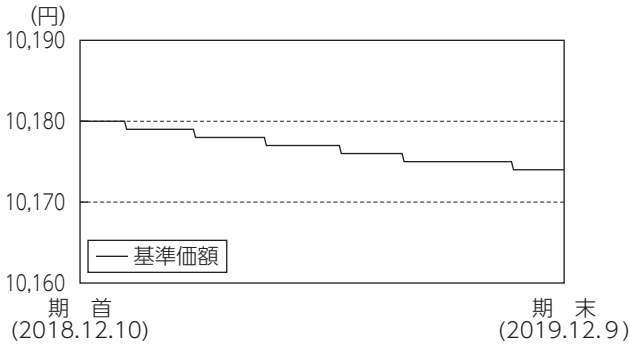
運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行いません。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
株式組入制限	純資産総額の30%以下

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期首)2018年12月10日	円	%	%
12月10日	10,180	-	-
12月末	10,180	0.0	-
2019年1月1日	10,179	△0.0	-
2月末	10,179	△0.0	-
3月末	10,178	△0.0	-
4月末	10,178	△0.0	-
5月末	10,177	△0.0	-
6月末	10,176	△0.0	-
7月末	10,176	△0.0	-
8月末	10,175	△0.0	-
9月末	10,175	△0.0	-
10月末	10,175	△0.0	-
11月末	10,174	△0.1	-
(期末)2019年12月9日	10,174	△0.1	-

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
- (注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,180円 期末：10,174円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

短期の国債やコール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1) 公 社 債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国債証券	350,004	(350,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ( )内は償還による減少分、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

(2) その他有価証券

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国内短期社債等	238,999,542	(238,999,547)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ( )内は償還による減少分、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

# ダイワ・マネー・マザーファンド

## ■主要な売買銘柄 公 社 債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

当 期		期 末	
買	付	売	付
銘	柄 金 額	銘	柄 金 額
	千円		千円
801 国庫短期証券 2019/3/18	350,004		

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。  
(注2) 単位未満は切捨て。

## ■組入資産明細表 国内その他有価証券

	当 期 末	
	評 価 額	比 率
国内短期社債等	千円 999,997	% <1.2>

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。  
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2019年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 83,690,918	% 100.0
投資信託財産総額	83,690,918	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	83,690,918,350円
コール・ローン等	82,690,920,679
現先取引(その他有価証券)	999,997,671
(B) 負債	51,646
その他未払費用	51,646
(C) 純資産総額(A-B)	83,690,866,704
元本	82,259,129,638
次期繰越損益金	1,431,737,066
(D) 受益権総口数	82,259,129,638口
1万口当り基準価額(C/D)	10,174円

\* 期首における元本額は78,610,288,449円、当作成期間中における追加設定元本額は112,484,550,034円、同解約元本額は108,835,708,845円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ日経225-シフト11- 2019-03 (適格機関投資家専用) 1,850,319,411円、ダイワ・グローバルIOT関連株ファンド -A I新時代- (為替ヘッジあり) 977,694円、ダイワ・グローバルIOT関連株ファンド -A I新時代- (為替ヘッジなし) 977,694円、ダイワFEGグローバル・バリュー (為替ヘッジあり) 9,608円、ダイワFEGグローバル・バリュー (為替ヘッジなし) 9,608円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり) 49,107円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし) 49,107円、ダイワ/RICI® コモディティ・ファンド5,024,392円、US債券NB戦略ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型) 1,676円、US債券NB戦略ファンド (為替ヘッジなし/年1回決算型) 1,330円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>

米ドルコース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>円コース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>世界通貨分散コース981円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/隔月分配型) 180,729円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/隔月分配型) 737,649円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/資産成長型) 95,276円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/資産成長型) 337,885円、世界セレクトティブ株式オープン983円、DCダイワ・マネー・ポートフォリオ4,249,607,706円、ダイワファンドラップ コモディティセレクト317,107,941円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 日本円・コース (毎月分配型) 132,757円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型) 643,132円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 4,401,613円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- ミドル・コース (毎月分配型) 12,784円、ダイワ/フィデリティ北米株式ファンド-パラダイムシフト-9,853,995円、低リスク型アロケーションファンドII (適格機関投資家専用) 4,212,646,194円、プルベア・マネー・ポートフォリオV 32,678,414,397円、プル3倍日本株ポートフォリオV 31,868,647,270円、ベア2倍日本株ポートフォリオV 6,946,381,074円、ダイワFEGグローバル・バリュー株ファンド (ダイワSMA専用) 3,666円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 155,317円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型) 38,024円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ミドル・コース (毎月分配型) 4,380円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 豪ドル・コース (毎月分配型) 22,592円、ダイワ/アムンディ食糧増産関連ファンド 164,735円、ダイワ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ 109,485,524円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (資産成長コース) 33,689円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース) 96,254円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド-インフラ革命- (為替ヘッジあり) 5,385円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド -インフラ革命- (為替ヘッジなし) 11,530円、ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) ミドルコース9,817円、ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 日本円コース6,964円、ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 通貨αコース9,479円、ダイワ英国高配当株ツインα (毎月分配型) 98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ980,367円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型) 1,097円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) トルコ・リラ・コース (毎月分配型) 2,690円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,350円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 通貨αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式&通貨ツインαコース982,029円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ-通貨セレクト・コース (毎月分配型) 98,174円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,174円です。

## ■損益の状況

当期 自2018年12月11日 至2019年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 42,819,286円
受取利息	111,756
支払利息	△ 42,931,042
(B) その他費用	△ 2,381,736
(C) 当期損益金(A+B)	△ 45,201,022
(D) 前期繰越損益金	1,418,229,476
(E) 解約差損益金	△ 1,927,237,136
(F) 追加信託差損益金	1,985,945,748
(G) 合計(C+D+E+F)	1,431,737,066
次期繰越損益金(G)	1,431,737,066

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。